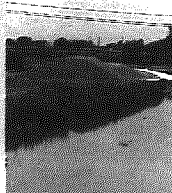


大野小裏に出来た新しい堤防



2

主要地方道新潟蕨線の黒鳥1から木場大南橋まで約一・五キロは、木場下組地内二百七十メートルを残して通行できるように残っている。また、老朽化した帝石橋（県道新潟黒崎インター線）の架け

かえが平成五、六年の完成を目標に計画されており本年度から新潟土木事務所が工事を始めている。新しい帝石橋は延長二八九・六メートル、幅員が三三メートル（歩道つき）である。

善久・大野の合流点の改修進む。平成四年度に概成

国道8号線の大野大橋をわたると、中の口川に新しい堤防が造られつつあるのがわかる。また、信濃川大橋からは、善久の信濃川と中の口川の合流点辺りまで出来た巨大な堤防が、大野へ向かって伸びているのがわかる。

流約二八〇メートルの低水護岸を行う。一部の家屋補償も予定されている。この事業に伴う用地買収は平成二年度に完了する予定である。また、善久地内では、既に出てきている低水護岸に築堤を一六〇メートル行う。予算は約八千万円である。 ※概成：低水築堤護岸が出来上がるが、堤防のノリにコンクリートで固める高水護岸が残る。

白根の鷺の木水門は完成

この事業は対岸の白根市側でも平行して進められる。本年度は桜町の低水護岸や築堤が行われる。

また、白根市側では、昨年十二月に「鷺ノ木水門」が完成した。これは、昭和六十一年度から信濃川下流工事事務所建設していたもので、大通川の流末処理と逆流防止が目的。この水門は四代目、幅三五メートル、長さ一八メートル、高さ一六・四メートル。上部は橋になっており、車や人が通れる。事業費は十八億二千五百万円である。

中の口川も大規模な改修計画。白根側は既に着工。

大野大橋から上流の中の口川も大規模

な河川改修の計画があり、白根市側では

新しい堤防が造られ始めている。工事は県の巻土木事務所がしている。同所は中の口川の新飯田橋（白根市）から大野大橋まで二一・八キロを管理している。

。土地がかかる人も多い。中の口川の地形がかなり変わるくらいの大規模な計画である。 昨年度は白根市側を一部工事し、本年度は大野大橋上流二、三百メートルを工事し、塩下俵の用地買収が終了する予定だ。黒崎側は金巻地内の用地買収を進めていく計画だ。

中でも、大野大橋から塩俵橋（木場川前）までの約二キロは、改修の重点地域だ。というのは、前述の通り合流点の改修に伴って中の口川も改修する必要があること。もともと、堤防の高さが上流部（塩俵橋より上流）より低くいわゆるカミソリ堤防ということなどが原因だ。計画では、川幅を広げたり河道をまっすぐにしたりして新しい堤防を築くことになっている。一部堤防の移築や電車線路の移設、民家の移転などが含まれている。

河川改修にはばく大な予算が必要で、巻土木事務所の河川改修の予算は昨年度が七億七五〇〇万円、本年度が七億八四〇〇万円である。この計画が実現するにはまだ時間がかかると予想される。なお、中の口川の改修の整備率は六〇％を超えたところである。

緒立・的場を土地区画整理。平成四年度に完成。

緒立と的場で土地区画整理事業が始まった。両地区では昨年十一月二十五日に県の認可を得てそれぞれ土地区画整理組合を設立し、新潟流通センターの南側二三・六ヘクタールを開発する。完成は平成四年度を目標にしている。

緒立土地区画整理組合は理事長細山三郎氏、地権者三十八人で、横江排水から流通センターまで緒立集落に隣接した八・一ヘクタール（黒崎町地籍五・五ヘクタール、新潟市地籍二・六ヘクタール）を施行する。

総事業費は一二億七五〇〇万円。本年度は盛土整地工事をする。盛土はほぼ完了している。造成地には一四メートル道路や公園（開発地の三％・二四〇〇平方メートル）が出来る。

この事業で黒崎荘がかかるために、同

荘を移転新築しなければならない。町で現在検討中で、早ければ来年度に着工したい考えだ。組合は移転の補償費を一億円としている。また、緒立遺跡の発掘を調査しなければならぬため、組合は八二〇〇万円を予算化し、黒崎町教育委員会で行う予定である。

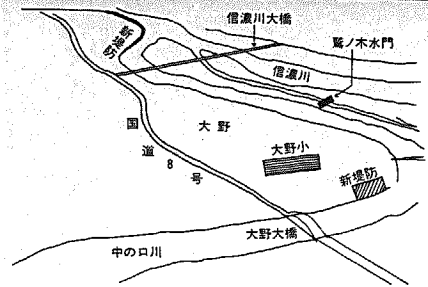
的場土地区画整理事業は理事長細山氏、地権者七十三人で、一五・五ヘクタール（黒崎町地籍二・八ヘクタール、新潟市地籍一二・七ヘクタール）を施行する。総事業費は二六億三六〇〇万円。盛土が半分くらい完了している。造成地には一四、一六メートル道路や公園が出来。埋蔵文化財の調査は新潟市教育委員会が八月から行う予定。

町はこの事業を補助しており、六十三年度は認可される前の費用の半額を負担



中の口川と信濃川の合流点

大野大橋から上流を建設省から、下流を県が改修する。大野小の裏には昨年度に低水護岸工事をしている。上流の善久までの1.7kmは平成4年度にほぼ出来る。



中の口川（左岸黒崎町側）

大野大橋から塩俵橋までの二キロを改修する



昨年十二月に完成した鷺の木水門



緒立の土地区画整理事業

緒立遺跡の発掘調査地域と黒崎荘を除いて土砂を運び込み盛土がほぼ終わった。面積は8.1ha（的場は15.5ha）、工事は4か年で、平成4年に完成予定。写真は流通センターからで右手に史料館、緒立八幡宮の社が見える。

移転予定の黒崎荘



開

3